

市民協働事業提案制度 自己評価シート

令和2年度実施事業

作成日 3年 4月15日

事業名	ラジオエフ「富士市民SDGs宣言」事業 2020年度
記載団体 又は担当課	富士市総務部企画課

※評価点（5段階）の基準

5点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4点：達成度60%～79%

3点：（一部に問題はあるが概ね達成）達成度40%～59% / 2点：達成度20%～39%

1点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	5	普段の行動とSDGsのつながりの認知という目的を共有して対応いただいた。
②役割分担は適切にできましたか。	5	市とコミュニティエフエム放送では、互いに持つノウハウやネットワークが異なる中、適切に役割分担でき、相乗効果が得られたものと認識している。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	5	連絡を取ることができ、十分に意思の疎通を図ることができた。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	5	委託者と受託者という関係以上に、協働して事業にあたることができ、良好な関係で事業展開できた。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	5	ラジオ番組に多くの市民が出演することで、その知人友人など、広い範囲への波及ができたものと認識している。

評価の流れ

自己評価シート

→

相互評価シート

■ (2) 事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足 (評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など)
①目的・目標は達成できましたか。	5	新型コロナウイルス感染症対策のため、急遽委託内容の変更などに迫られたが、当初の目的に沿い目標を達成できたものと考えている。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	5	新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の調整が必要となったが、対応した事業計画に変更し、その予定通り進めることができた。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	4	柔軟に対応いただき結果として事業の費用対効果は高かった。
④事業に対する「受益者(市民)の満足度」は十分に図られましたか。 (受益者からの評価が分かる場合)	4	※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など
		直接的に測る方法がないため、定量的な評価はできないが、ラジオ番組に出演した市民の声を聴く限り、満足度は高かったのではないかと認識している。

■ (3) その他、課題や改善方法など

新型コロナウイルス感染症対策のため、対応に苦慮した。令和3年度は、計画段階で対応を検討したうえで進めたい。今後、プラットフォームの立ち上げなども進むため、連携を広げていきたい。